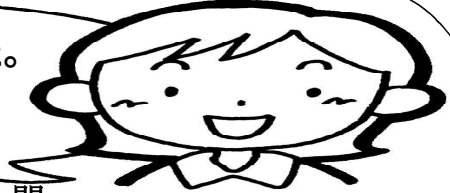


「ほっとルーム」だより



第120号 平成30年 8月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

照島小学校で、「おあしす」を開設しました。
9月は、生福小と羽島保育園で「おあしす」を
開設する予定です。



7月6日(金)に、照島小学校で「おあしす」を開
設しました。学級PTAにいらっしゃった保護者の
皆さんがお立ち寄り下さって、お茶を飲みながら子
ども達の成長の様子や悩み、子どもさんへの接し方
を語り合いました。



9月14日(金)は生福小学校で、9月26日(水)
は羽島保育園で、「おあしす」を開設します。1・
2年生の長子家庭だけでなく他の学年や保育園の御
家庭の方々とも、お話しできることを楽しみにしています。

生福小学校

- 開設日時 **9月14日(金)**
(午後1時30分～4時)
- 場所 家庭科室

羽島保育園

- 開設日時 **9月26日(水)**
(午後1時30分～2時30分)
- 場所 ランチルーム

魚のさばき方に挑戦!

～羽島地区母親学級～

羽島地区では、れいめい羽島協議会婦人部主催の
母親学級を毎月第3月曜日を中心に開催しています。

6月18日(月)は、羽島交流センターで、平石さ
ゆりさんが講師になり、サバ・アジ・タイ・キビナ
ゴのさばき方に挑戦しました。魚どころの羽島地区
ですが、お店や母親に処理して貰うことが多いそう
で、若いお母さん達は悪戦苦闘する場面もありまし
た。



婦人部の方々が、小さいお子さんたちに本を読ん
であげたり、遊具で遊んであげたりしてくださるので、お母さん方は安心して学
習できました。

参加者の声 ➡ 魚をさばくのは今日が初めてで、とても勉強になってうれしかった
です。うろこをつけて皮をはがすのは力がいりました。近くに親がいて、いつもさば
いて届けてくれますが、これからは、自分でもやってみようと思いました。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に
ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム : 教育委員会 社会教育課内
TEL 21-5130 : FAX 36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

子育てアドバイス

思春期の子どもの気持ちに、心を傾けてみましょう。

○ せっかく自分の意見を言ったのに、「子どものくせに」と言って分かってくれない。

○ 大人は、わたしたちを、いつまでも何もできないと思わないで欲しい。

○ わたしの悩みを、ただ聞いてくれるだけでいいの。



○ 大人は自分に有利なことばかり。子どもから見れば、自分勝手なところが多すぎる。

○ 言いたいことだけ言って、それで終わり。少しはほめてよね。

○ せめて、「がんばったね」という一言があれば、やっていける。

○ わたしはわたしです。わたらしさに気づいて！

ちがって あたりまえ！

～市来小家庭教育学級～

市来小学校家庭教育学級「さざなみ学級」は、7月5日（木）、幼稚園・中学校合同で、市来幼稚園を会場にし、講師に市来小学校の安藤先生をお迎えして、人権教育について学習しました。

「もし、世界が100人の村だったら」という本から、違う人がいてあたりまえで、「ちがいは「まちがいは」じゃないことを、初めに学びました。そして、子育て中の保護者のために、特に、「自己肯定感」をもつ子どもになるための言葉かけを考えました。言葉の使い方意識することで子どもの頑張り方や成長がかわるということ学ぶと共に、自分の中にある偏見や決めつけを見つめ直す時間になりました。



学級生の声

○ 日頃の自分を振り返ると、子どもの結果だけを見て褒め、満足していたように思います。もっとプロセスに目を向けたいと思いました。

○ 「人権教育」というと、固い、難しいというイメージを持っていましたが、今日は、その中でも、子どもへの日々の声かけの話で、分かりやすかったです。声かけが子どもの成長に大切だという事を改めて感じました。

おにぎり

～小1 女兒の詩～

えんそくは
おとうさんのつくったおにぎりでした
おかあさんがゆびをけがしたから
おとうさんが
おすしやさんみたいにつくりました
おとうさんの手のおいがしました

竹下 哲著「四季のうた」より

